

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号  
**実用新案登録第3145434号**  
**(U3145434)**

(45) 発行日 平成20年10月9日(2008.10.9)

(24) 登録日 平成20年9月17日(2008.9.17)

(51) Int.Cl. F I  
**AO 1 G 17/00 (2006.01)** AO 1 G 17/00  
**AO 1 G 9/00 (2006.01)** AO 1 G 9/00 J

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 実願2008-5129 (U2008-5129)  
 (22) 出願日 平成20年7月25日(2008.7.25)

(73) 実用新案権者 506099982  
 シュウ インコーポレーション  
 アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市ワイマ  
 ヌストリート1232番スイートA-2  
 (74) 代理人 100081709  
 弁理士 鶴若 俊雄  
 (72) 考案者 小泉 秀章  
 東京都練馬区栄町46-3 シュウ イン  
 コーポレーション内

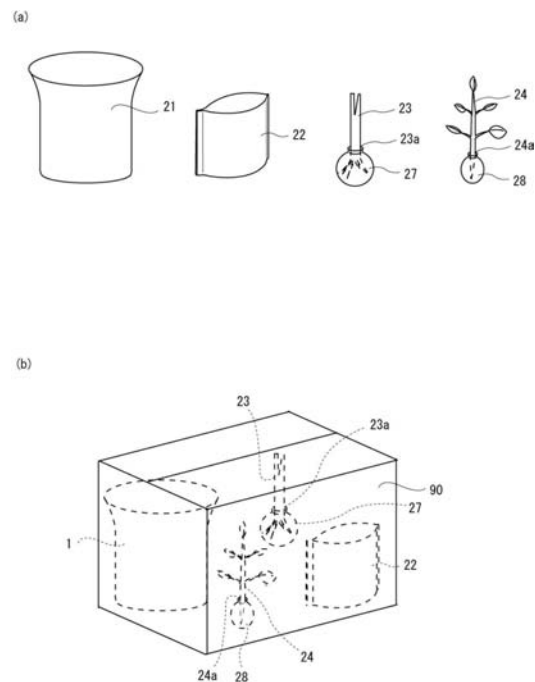
(54) 【考案の名称】鉢植え樹木セットおよび鉢植え樹木

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】樹木の生育を詳細に長期間に亘って鑑賞することが可能で、かつ室内緑化に有益な鉢植え樹木を提供する。

【解決手段】鉢植え樹木セットは、鉢植え容器と、鉢植え容器に入れる育成土と、育成土に蒔く樹木の実と、をセットにし、鉢植え容器に育成土を入れて樹木の実を蒔き、樹木の実から樹木を育成する。また、鉢植え容器と、鉢植え容器に入れる育成土と、育成土に挿し木する樹木と、をセットにし、鉢植え容器に育成土を入れて樹木の挿し木を行い、挿し木して樹木を育成する。また、鉢植え容器21と、鉢植え容器21に入れる育成土22と、育成土22に植える台木23と、台木23に接ぎ木する樹木24と、をセットにし、鉢植え容器21に育成土22を入れて台木23を植え、台木23に接ぎ木して樹木24を育成する。

【選択図】図5



## 【実用新案登録請求の範囲】

## 【請求項 1】

鉢植え容器と、  
前記鉢植え容器に入れる育成土と、  
前記育成土に蒔く樹木の実と、  
をセットにし、  
前記鉢植え容器に前記育成土を入れて前記樹木の実を蒔き、  
前記樹木の実から樹木を育成することを特徴とする鉢植え樹木セット。

## 【請求項 2】

鉢植え容器と、  
前記鉢植え容器に入れる育成土と、  
前記育成土に挿し木する樹木と、  
をセットにし、  
前記鉢植え容器に前記育成土を入れて前記樹木の挿し木を行い、  
前記挿し木して前記樹木を育成することを特徴とする鉢植え樹木セット。

10

## 【請求項 3】

鉢植え容器と、  
前記鉢植え容器に入れる育成土と、  
前記育成土に植える台木と、  
前記台木に接ぎ木する樹木と、  
をセットにし、  
前記鉢植え容器に前記育成土を入れて前記台木を植え、  
前記台木に接ぎ木して前記樹木を育成することを特徴とする鉢植え樹木セット。

20

## 【請求項 4】

請求項 1 に記載の鉢植え樹木セット、または請求項 2 に記載の鉢植え樹木セット、または請求項 3 に記載の鉢植え樹木セットから育成された樹木を有することを特徴とする鉢植え樹木。

30

## 【考案の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

この考案は、鉢植え容器で樹木を育成する鉢植え樹木セットおよび育成した樹木を有する鉢植え樹木に関するものである。

## 【背景技術】

## 【0002】

従来は、樹木の育成方法として、一般の露地植えと主に観賞用としての鉢植えがされ、露地植えは、例えば、図 7 に示すように、桜桃などの樹木の実を育成土に直接蒔き、所定期間養成して植木鉢に移植して観賞用にしたものがある。

40

## 【0003】

また、例えば、図 8 に示すように、蜜柑などの樹木の挿し木を育成土に直接挿し、所定期間養成して植木鉢に移植して観賞用にしたものがある。

## 【0004】

また、観賞用などで市場性が注目されている盆栽用としての鉢植え栽培も、ハウス内で行われていた（特許文献 1）。

## 【特許文献 1】特開 2007 - 195509 号公報

50

**【考案の開示】****【考案が解決しようとする課題】****【0005】**

このように、一般の露地植えと主に観賞用としての鉢植えも、室内で行われることがなく、観賞や室内緑化のために鉢植え樹木を室内に置いても、樹木が生育した状態であり、樹木の生育を詳細に長期間に亘って鑑賞することができなかつた。

**【0006】**

この考案は、以上の点を考慮してなされたもので、樹木の生育を詳細に長期間に亘って鑑賞する可能で、かつ室内緑化に有益な鉢植え樹木セットおよび鉢植え樹木を提供することを目的としている。

10

**【課題を解決するための手段】****【0007】**

前記課題を解決し、かつ目的を達成するために、この考案は、以下のように構成した。

**【0008】**

請求項1に記載の考案は、  
鉢植え容器と、  
前記鉢植え容器に入れる育成土と、  
前記育成土に蒔く樹木の実と、  
をセットにし、

20

前記鉢植え容器に前記育成土を入れて前記樹木の実を蒔き、  
前記樹木の実から樹木を育成することを特徴とする鉢植え樹木セットである。

**【0009】**

請求項2に記載の考案は、  
鉢植え容器と、  
前記鉢植え容器に入れる育成土と、  
前記育成土に挿し木する樹木と、  
をセットにし、

前記鉢植え容器に前記育成土を入れて前記樹木の挿し木を行い、  
前記挿し木して前記樹木を育成することを特徴とする鉢植え樹木セットである。

30

**【0010】**

請求項3に記載の考案は、  
鉢植え容器と、  
前記鉢植え容器に入れる育成土と、  
前記育成土に植える台木と、  
前記台木に接ぎ木する樹木と、  
をセットにし、

前記鉢植え容器に前記育成土を入れて前記台木を植え、  
前記台木に接ぎ木して前記樹木を育成することを特徴とする鉢植え樹木セットである。

**【0011】**

請求項4に記載の考案は、  
請求項1に記載の鉢植え樹木セット、または請求項2に記載の鉢植え樹木セット、または請求項3に記載の鉢植え樹木セットから育成された樹木を有することを特徴とする鉢植え樹木である。

40

**【考案の効果】****【0012】**

前記構成により、この考案は、以下のような効果を有する。

**【0013】**

請求項1に記載の考案では、鉢植え容器と、鉢植え容器に入れる育成土と、育成土に蒔く樹木の実と、をセットして店頭でそのまま販売したり、梱包して販売できる。また、鉢植え樹木セットの使用は、鉢植え容器に育成土を入れて樹木の実を蒔き、実から樹木が育

50

成され、この樹木の育成を長期間に亘って鑑賞でき、かつ室内緑化になる。

【0014】

請求項2に記載の考案では、鉢植え容器と、鉢植え容器に入れる育成土と、育成土に挿し木する樹木と、をセットにして店頭でそのまま販売したり、梱包して販売できる。また、鉢植え樹木セットの使用は、鉢植え容器に育成土を入れて樹木の挿し木を行い、挿し木により樹木が育成され、この樹木の育成を長期間に亘って鑑賞でき、かつ室内緑化になる。

【0015】

請求項3に記載の考案では、鉢植え容器と、鉢植え容器に入れる育成土と、育成土に植える台木と、台木に接ぎ木する樹木と、をセットにして店頭でそのまま販売したり、梱包して販売できる。また、鉢植え樹木セットの使用は、鉢植え容器に育成土を入れて台木を植え、台木に接ぎ木して樹木が育成され、この樹木の育成を長期間に亘って鑑賞でき、かつ室内緑化になる。

10

【0016】

請求項4に記載の考案では、請求項1に記載の鉢植え樹木セット、または請求項2に記載の鉢植え樹木セット、または請求項3に記載の鉢植え樹木セットから育成された樹木により、長期間に亘って鑑賞でき、かつ室内緑化になる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0017】

以下、この考案の鉢植え樹木の実施の形態について説明する。この考案の実施の形態は、考案の最も好ましい形態を示すものであり、この考案はこれに限定されない。

20

【0018】

[第1の実施の形態]

図1は第1の実施の形態の鉢植え樹木セットを示す図である。この実施の形態の鉢植え樹木セットは、図1(a)に示すように、鉢植え容器1と、この鉢植え容器1に入れる育成土2と、育成土2に蒔く樹木の実3と、をセットにしたものである。

【0019】

この鉢植え樹木セットは、鉢植え容器1と、育成土2と、樹木の実3と、をセットして店頭でそのまま販売することができる。また、図1(b)に示すように、鉢植え容器1と、育成土2と、樹木の実3は、それぞれダンボール箱90に入れて梱包して販売できる。

30

【0020】

図2は第1の実施の形態の鉢植え樹木の育成を示す図である。この実施の形態では、梱包された鉢植え樹木セットを購入した場合は梱包を解き、梱包されずに購入した場合はそのまま、例えば鉢植え容器1を室内に置き、この鉢植え容器1に育成土2を入れる。そして、育成土2に樹木の実3を蒔き、コップ4などから水を所定量入れる。所定期間が経過すると、実3から根3aが出て成長し、さらに芽3bが出て成長し、幹3cとなり、幹3cから葉3dが出る。

【0021】

このようにして、鉢植え樹木セットの使用は、室内に置かれた鉢植え容器1に育成土2を入れて樹木の実3を蒔き、実3から樹木が育成され、この樹木の育成を長期間に亘って鑑賞でき、かつ室内緑化になる。

40

【0022】

[第2の実施の形態]

図3は第2の実施の形態の鉢植え樹木セットを示す図である。この実施の形態の鉢植え樹木セットは、図3(a)に示すように、鉢植え容器11と、この鉢植え容器11に入れる育成土12と、この育成土12に挿し木する樹木13と、をセットにしたものである。この挿し木する樹木13は、切り口側13aに給水部材18を設け、給水部材18から切り口側13aに水分を供給することで、挿し木する樹木13が長期間枯れないようにしている。

【0023】

50

この鉢植え樹木セットは、鉢植え容器 1 1 と、育成土 1 2 と、挿し木する樹木 1 3 と、をセットして店頭でそのまま販売することができる。また、図 3 ( b ) に示すように、鉢植え容器 1 1 と、育成土 1 2 と、挿し木する樹木 1 3 は、それぞれダンボール箱 9 0 に入れて梱包して販売できる。

#### 【 0 0 2 4 】

図 4 は第 2 の実施の形態の鉢植え樹木の育成を示す図である。この実施の形態では、梱包された鉢植え樹木セットを購入した場合は梱包を解き、梱包されずに購入した場合はそのまま、例えば鉢植え容器 1 1 を室内に置き、この鉢植え容器 1 1 に育成土 1 2 を入れる。そして、育成土 1 2 に樹木 1 3 の挿し木を行い、コップ 1 4 などから水を所定量入れる。所定期間が経過すると、樹木 1 3 から根 1 3 b が出て成長し、さらに芽 1 6 c が出て成長する。

10

#### 【 0 0 2 5 】

このようにして、鉢植え樹木セットの使用は、室内に置かれた鉢植え容器 1 1 に育成土 1 2 を入れ、この育成土 1 2 に樹木 1 3 の挿し木を行い、挿し木により樹木 1 3 が育成され、この樹木 1 3 の育成を長期間に亘って鑑賞でき、かつ室内緑化になる。

#### [ 第 3 の実施の形態 ]

図 5 は第 3 の実施の形態の鉢植え樹木セットを示す図である。この実施の形態の鉢植え樹木セットは、図 3 ( a ) に示すように、鉢植え容器 2 1 と、この鉢植え容器 2 1 に入れる育成土 2 2 と、この育成土 2 2 に植える台木 2 3 と、この台木 2 3 に接ぎ木する樹木 2 4 と、をセットにしたものである。この台木 2 3 は、切り口側 2 3 a に給水部材 2 7 を設け、給水部材 2 7 から切り口側 2 3 a に水分を供給することで、台木 2 3 が長期間枯れないようにしている。また、接ぎ木する樹木 2 4 にも切り口側 2 4 a に給水部材 2 8 を設け、給水部材 2 8 から切り口側 2 4 a に水分を供給することで、接ぎ木する樹木 2 4 が長期間枯れないようにしている。

20

#### 【 0 0 2 6 】

図 6 は第 3 の実施の形態の鉢植え樹木の育成を示す図である。この実施の形態では、梱包された鉢植え樹木セットを購入した場合は梱包を解き、梱包されずに購入した場合はそのまま、例えば鉢植え容器 2 1 を室内に置き、この鉢植え容器 2 1 に育成土 2 2 を入れる。そして、育成土 2 2 に台木 2 3 を植え、台木 2 3 に樹木 2 4 を接ぎ木し、コップ 2 9 などから水を所定量入れる。所定期間が経過すると、樹木 2 4 から根 2 4 b が出て成長し、さらに芽 2 4 c が出て成長する。

30

#### 【 0 0 2 7 】

このようにして、鉢植え樹木セットの使用は、室内に置かれた鉢植え容器 2 1 に育成土 2 2 を入れ、この育成土 2 2 に台木 2 3 を植え、台木 2 3 に樹木 2 4 を接ぎ木して樹木 2 4 が育成され、この樹木 2 4 の育成を長期間に亘って鑑賞でき、かつ室内緑化になる。

#### 【 0 0 2 8 】

第 1 ~ 第 3 の実施の形態において、鉢植え容器は、材質、形状、寸法などに特に制限はない。材質としては、例えば、ガラス、プラスチック、合成化学紙類、植物材、木製材、金属、( 金、銀、銅、鉄、その他合金のすべて )、鈍器、陶器、穀物、竹類などがある。また、形状としては、例えば、丸型、角型 ( 三角、四角、五角、六角、七角、八角等 ) などがある。また、寸法としては、例えば、卓上、室内床に等々に置くことができる大きさである。

40

#### 【 0 0 2 9 】

育成土は、土壌であれば特に制限はなく、育成用に肥料が用いられている。肥料には有機質肥料と化学肥料があり、有機質肥料は菜種油粕、骨粉、汚泥などの加工残渣や有機性廃棄物を原料に生産されるもので、化学肥料は尿素、燐鉱石、加里塩などを原料として生産されるものである。いずれも、植物に必要な窒素、リン酸、加里などの多量必須元素の成分が一定量以上含まれ、これらを施用することで植物に供給する役割をもつ。

#### 【 0 0 3 0 】

この肥料や水は、鉢植え容器の大きさや樹木の種類に応じて、定期的に供給する。

50

## 【0031】

樹木としては、種々の種類があり、特に限定されない。例えば、茶、コーヒー、ココア、ブルーベリー、柑橘類（ミカン、オレンジ他全般）、りんご、なし、桃、桜、ツツジ、（サツキ）ビワ、青木、桐、杉、モミジ、橡、檜、白樺、銀杏、柿、ブドウ、クリ、キュウイなどがある。

## 【0032】

この鉢植え樹木は、長期間に亘って鑑賞でき、かつ室内緑化になり、かつ温暖化を防止する効果がある。また、店内に置くことで、販促用品、宣伝用（各種）となり、教室に置くことで教材となる。また、贈答用の商品ともなる。

## 【産業上の利用可能性】

10

## 【0033】

この考案は、鉢植え容器で樹木を育成する鉢植え樹木セットおよび育成した樹木を有する鉢植え樹木に適用可能であり、樹木の生育を詳細に長期間に亘って鑑賞する可能で、かつ室内緑化に有益である。

## 【図面の簡単な説明】

## 【0034】

【図1】第1の実施の形態の鉢植え樹木セットを示す図である。

【図2】第1の実施の形態の鉢植え樹木の育成を示す図である。

【図3】第2の実施の形態の鉢植え樹木セットを示す図である。

【図4】第2の実施の形態の鉢植え樹木の育成を示す図である。

20

【図5】第3の実施の形態の鉢植え樹木セットを示す図である。

【図6】第3の実施の形態の鉢植え樹木の育成を示す図である。

【図7】従来鉢植え樹木の育成を示す図である。

【図8】従来鉢植え樹木の育成を示す図である。

## 【符号の説明】

## 【0035】

1, 11, 21 鉢植え容器

2, 12, 22 育成土

3 実

6 樹木

30

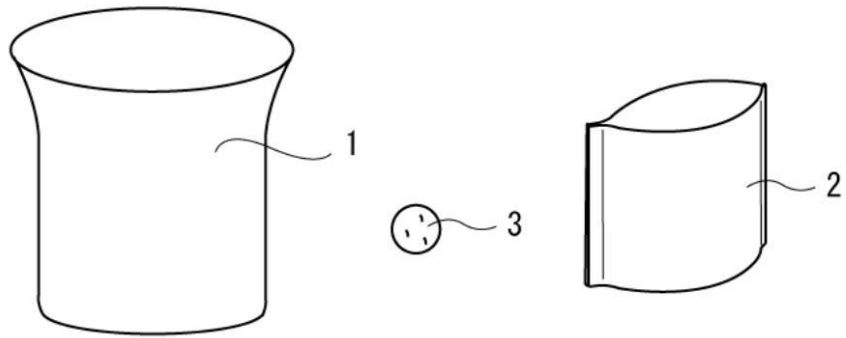
13 挿し木する樹木

23 台木

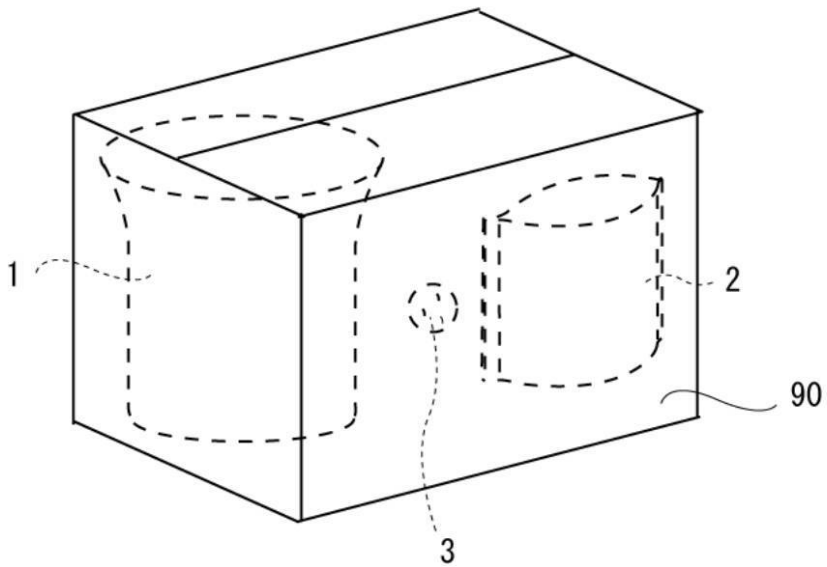
24 接ぎ木する樹木

90 ダンボール箱

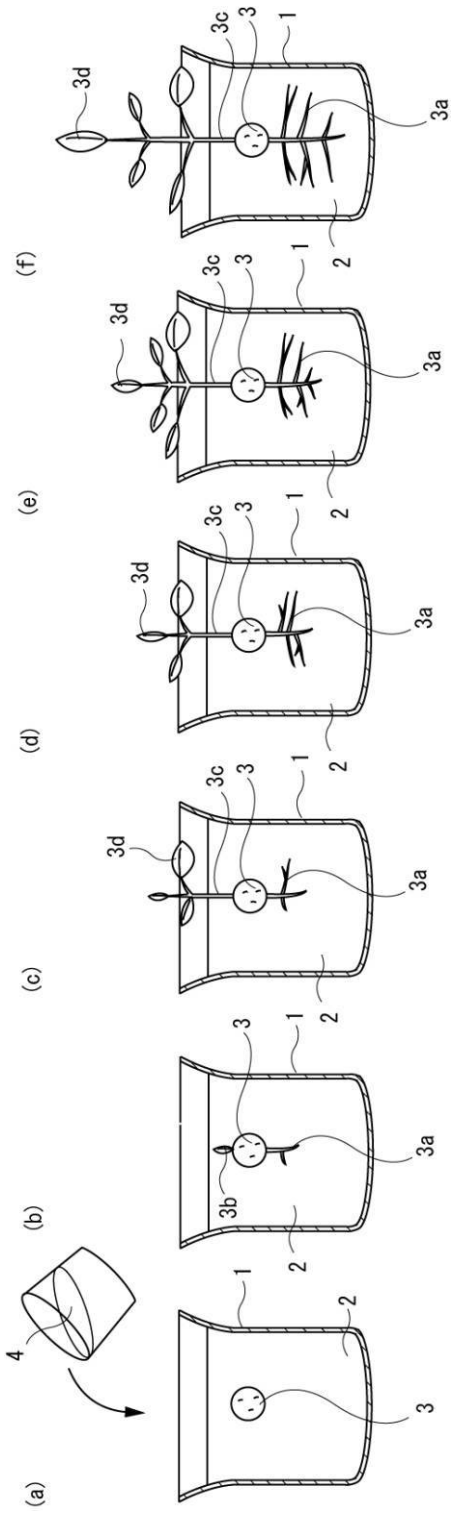
【 図 1 】  
(a)



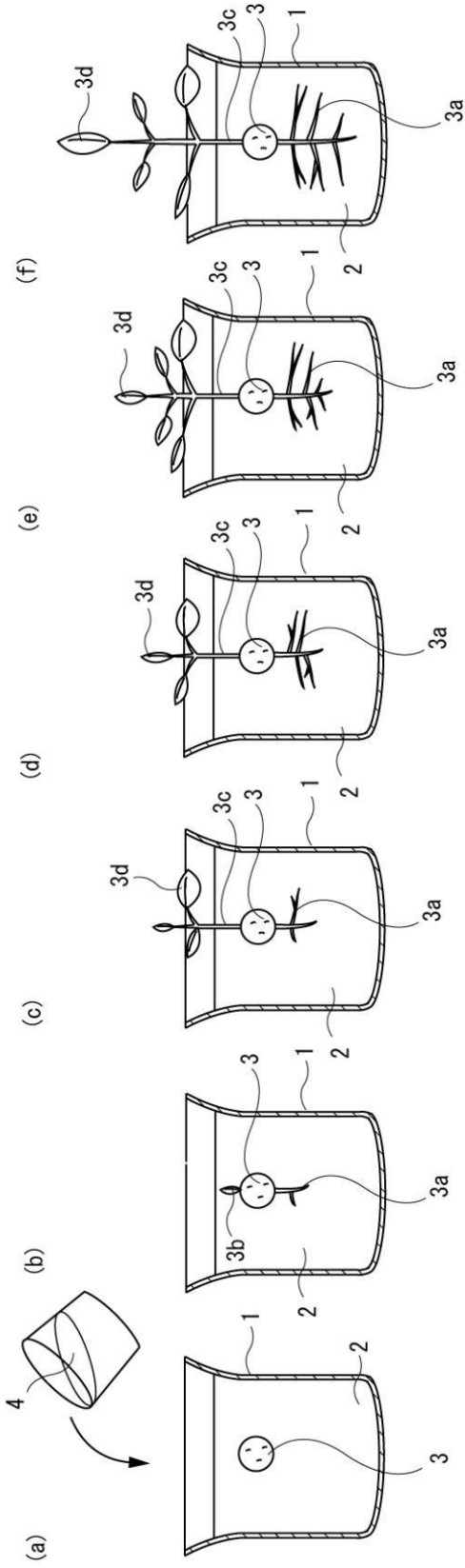
(b)



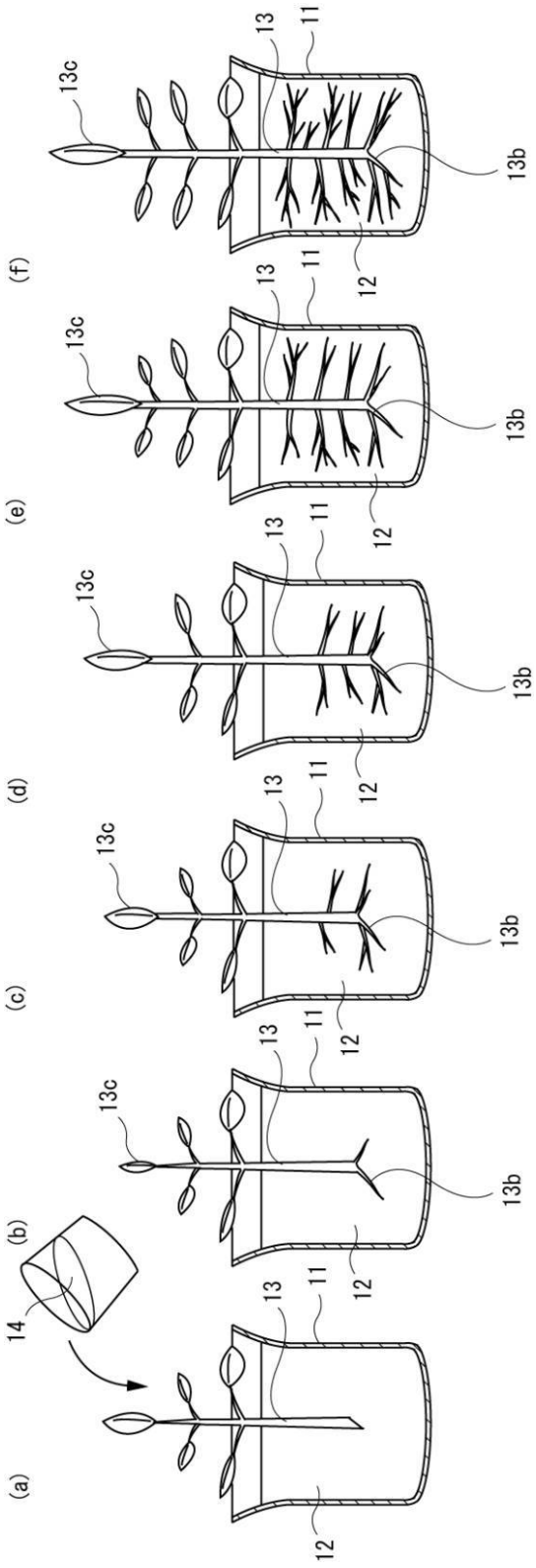
【 図 2 】



【 図 3 】

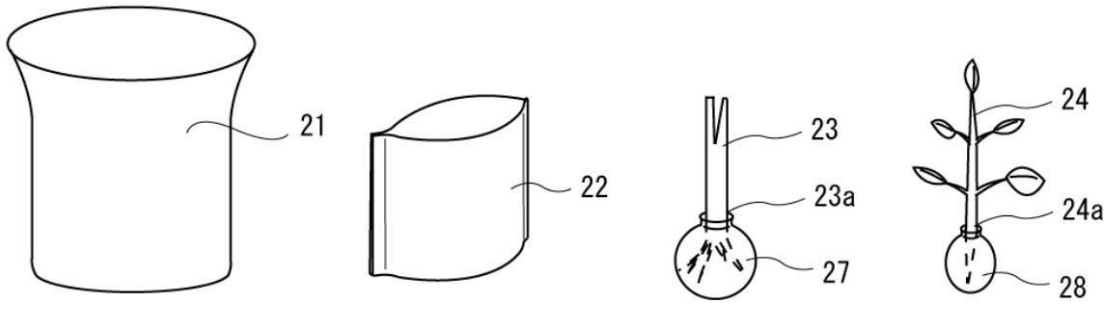


【 図 4 】

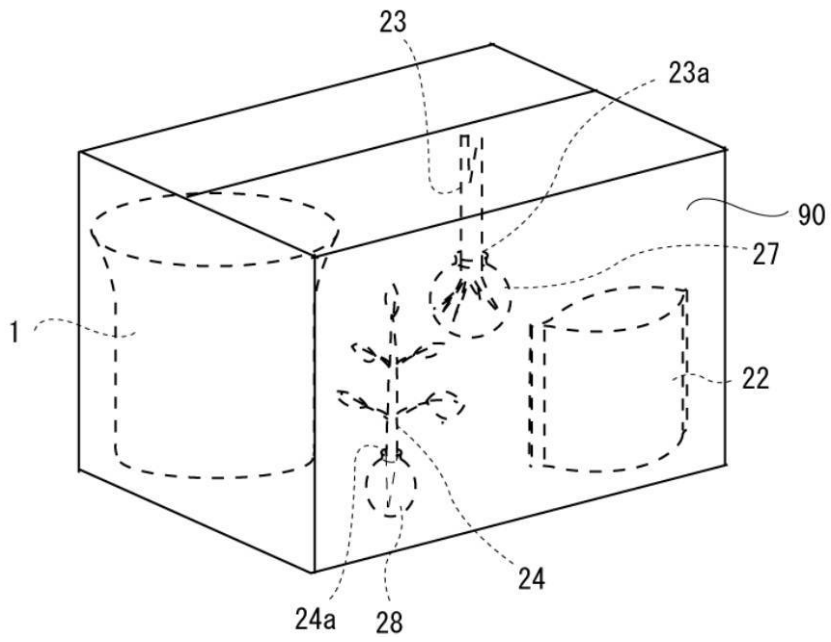


【 図 5 】

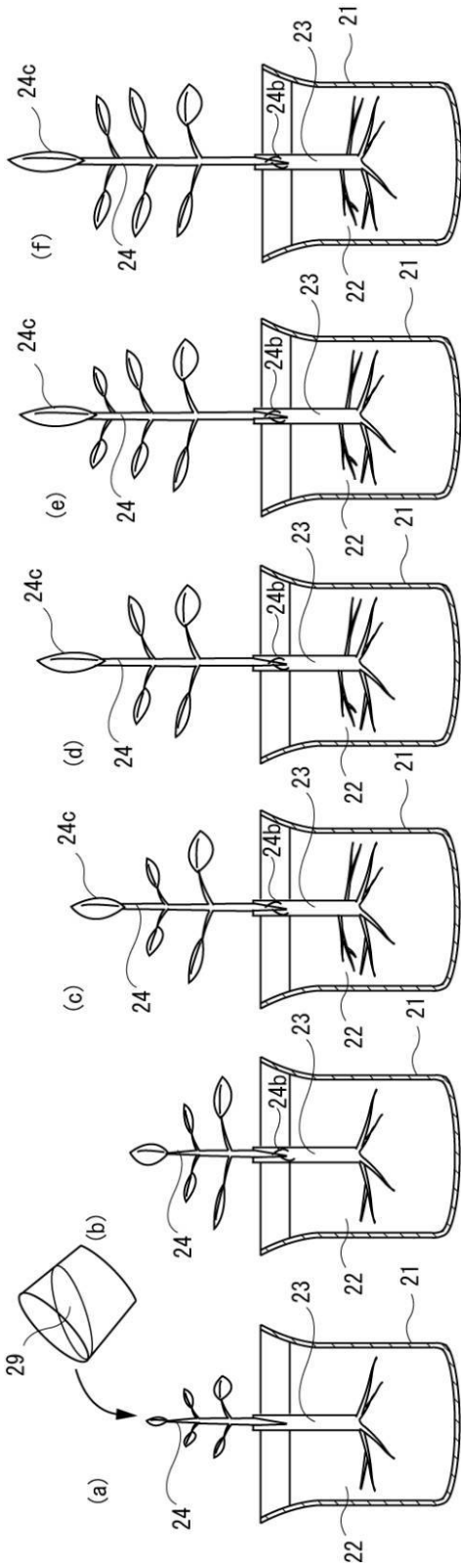
(a)



(b)

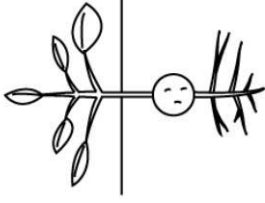


【 図 6 】

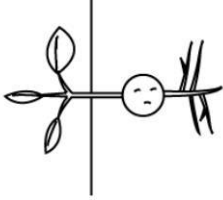


【 図 7 】

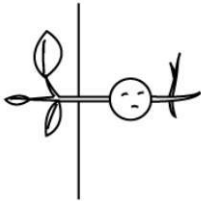
(f)



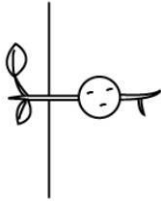
(e)



(d)



(c)



(b)



(a)



【 図 8 】

